

議 長	副議長	局 長	係 長	局 員
				

午後

令和7年11月17日

竹原市議会議員

松本進 

次のとおり通告します。

発言の種類	一般質問 ・ 緊急質問 ・ 質疑 ・ 討論
答弁を求める者	市長 教育長
発言の要旨	(討論の場合は反対・賛成の別)
(1) 竹原市内の県立高等学校2校のあり方に因る要望書(案)について	
(2) 市民の命と健康を守る上水道等水源の安全確保と市の責務について	

(1) 竹原市内の県立高等学校2校のあり方に関する要望書(案)が竹原市・竹原市教育委員会から、11月4日・総務文教委員会に説明されました。

この要望書の要旨には「現在ある2校を廃止して新しく高等学校1校を設置する……」とあります。「児童生徒や保護者等の期待に応えられる教育環境の整備、魅力的で特色ある教育活動を展開できるようにする」、また、要望書の前文には「近年、少子化に加え、市立中学校等の卒業者の約7割が市外の高等学校に進学することなどにより、定員割れが続いている…」としています。

竹原市は文教の町です。歴史と文化・伝統があり、著名な人材を輩出する上で、市内高校2校の存在・役割は重要です。竹原市の街づくりからも不可欠な教育施設と考えます。

そこで市長・教育長に質問します。

Q1、 市内2校の高等学校を廃止して1校を設置する最大の理由・原因は財政問題でしょうか。

統廃合によるコスト削減の具体的な試算・見通しや効率化などの説明を求めます。

Q2、 現在の2校を存続することを大前提にした、教育環境の整備・拡充はなぜできないのでしょうか。大崎上島町にある「叡智学園」、エリート校は建設費だけで69億円も使われていますが、なぜ、既存の2校には、子どもや保護者が求める教育内容や教育施設等の整備・拡充に税金を使わないのでしょうか。明確な説明を求めます。

(2) 市民の命と健康を守る上水道等水源の安全確保と市の責務について

多くの住民は本郷産廃場の中止・完全撤去を求めています。私は、竹原市側に流れる排水路やコンクリートの堤防が築かれているのを11月7日に確認しました。そこで市長に質問です。

Q1、 竹原市は、上水道水・飲料水や農業用水の水源を汚染させる本郷産廃場建設をどのような立場で取組まれていますか。

Q1-1、本郷産廃場は容認の立場ですか、それとも反対の立場ですか。

Q1-2、安定型産廃場の排水基準値を守れば、下流域の住民の飲料水(井戸水や市上水道水)は安全に飲むことができますか。産廃場と飲料水の主な基準値と併せて説明を求めます。

Q1-3、本郷産廃場は、埋立廃棄物の全ての展開検査は実行していません。廃棄物の展開検査をしないで、安定型指定廃棄物以外の混入の防止はどの様にされていますか。

Q1-4、本郷産廃場の水質汚染、水源悪化の実態を竹原市はどの様に把握・認識していますか。

Q2、 市民の命と健康を守る上で、上水道水や飲料水・農業用水の安全の確保は大前提であり、竹原市の責務です。

私は、水源汚染を防止する有効な手段の1つには、竹原市が水道水源保護条例(案・仮称)を早急につくることを一般質問で繰り返し強く求めています。竹原市は、「検討する」との答弁を繰り返しています。これでは住民は納得できません。

Q2-1、竹原市は、水道水源保護条例の制定・実施をどの様に取組んできましたか。

水道水源保護条例をつくるために、具体的な課題は何がありますか。その課題の整理と対応はどの様になりますか。竹原市水道水源保護条例をつくる見通し・時期を明確にお答えください。

Q3、 竹原市内の河川水や井戸水等の「有機フッ素化合物」であるピーファス・ピーフォスなどの汚染の実態はどの様になりますか。有機フッ素化合物による人体への影響はどの様になりますか。その汚染源物質の除去・安全対策・実施はどの様にとりくまれていますか。

市長の明確な答弁を求めます。